



白神社は、今年世界遺産登録10周年を祝する「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部である熊野
古道（熊野古道）の登録に貢献しています。白神社の境内には岩屋子王孫稚嶽天皇、や草薙
大刀で創建された有田原皇子社、白神社の神代を祀めた白神院本殿の御本殿と御開基廟があり
ます。周辺には有田原皇子の墓石、御歌がある有田原皇子史跡、熊野九十九王子社の一つである王子王孫
御代文時代の石碑の岡が出土した鳥居町遺跡があります。海南市と相模川の境付近には、個人庭園
として手書きの広さがあり、漁人浦と通じる遊歩道といいらしい、廻る原がある。漁浦温泉街があるま
では手書きの広さがあり、漁人浦と通じる遊歩道といいらしい、廻る原がある。

「**白神社**」の所在する海南市には、熊野古道が通っており、王子跡をはじめ、多くの文化財が存在しています。「古絵図で歩く海南市中心部周辺の文化財マップ」では、藤白神社周辺を中心に、海南市中心部周辺の文化財や史跡を紹介します。古絵図手に、藤白神社周辺から琴ノ浦温泉山莊園まで歩いてみましょう。

Digitized by srujanika@gmail.com



烏居遺跡

JR紀勢本線の駅道敷設工事等に伴い、多量の繩文土器や石器をはじめ、前の部分が残存するものとして紀伊唯内の土器が見出されるなど、純土器時代後期（約3000年前）の遺跡として知られています。遺跡は尾根原に位置し、標高は7～9m、尾辺川左岸地化が進んでいますが、かつてはすぐ近くまで海潮が入り込んでいたと考えられます。海市町内には内陸部に舟形埴輪、亀甲埴輪、魚形埴輪、且来遺跡といった古文時代の遺跡があります。



琴ノ浦温山莊圖

かつては三方を海に面して黒江湾の風光を一望し、その一帯に岩山（矢ノ島）が屹立し、盛期には5万余坪を擁した園地は広大にして雄大な日本庭園です。本園の北には船尾山の山麓が迫り、その東には伝統の権現堂で栄えた黒江の町並みが位置しています。

国道42号線が拡幅整備され、南より西南に広がる海は昭和30年代に船舶運河を残して埋め立てられるなど開闢の景観は一変したが、園を含め周辺には広大な綠地があり、矢ノ島トンネルを抜けた渋内

からは淡路島の山後が遠望され、琴ノ浦の原風景を留めています。

本図は、八代市で発見された後江津の砂岩から大糸系新山砂岩と見られる砂岩を検定したところを発見し、諸所を検定の後に黒江浦の琴乃浦を見出したことに鑑鑑をなすと伝えられます。「海岸の見晴らし」より原題に於ける説です。土工の砂岩は泥岩を含んで、その外側を土層が覆して、土工の砂岩

し良き場所に敷地を設けて」大正2年に浜座敷を建て、その後次々と園地を広げ、大正4年には矢ノ島に隧道を掘り抜くと同時に主屋を建築し、西側海岸の裡め立てなど、当初の「五年計画は十年計画に延

長水郎兵衛小屋、昭和17年からは一般に公開され、その後庄内隠居所の跡とされ現存しています。

主屋 長次郎氏逝去後、昭和17年からは一般に公開され、その後広く近隣住民に親しまれ続けています。

Digitized by srujanika@gmail.com

温山莊園の建造物と庭園、そして近代の素材

歩いて知るきのくに歴史探訪 ~藤白神社から琴ノ浦温山荘園までを巡る~
古絵図で歩く海南市中心部周辺の文化財マップ

古松町で歩く海南市中心部周辺の文化財マップ
平成26年(2014)10月25日発行
発行:公益財団法人和歌山県文化財センター(〒640-8301 和歌山市岩橋1263-1)

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)



藤白神社



現行三年級由社會科組成(另加兩多選題題目)



| 藤白王子權現本堂

藤白王子権現本堂には、野熊三所権現本地坐像三軒、一曲鏡音立像、毘沙門天、不動三尊が祀られています。野熊三所権現本地坐像は、野熊本宮大本地坐である阿弥陀如来坐像、野熊新官大社の本地坐である觀音坐像と、野熊祐智院の本尊である千手觀音坐像のことです。これらは一部後に補てられていますが、平安時代後期の作と推定するが、これについては記載しておきたいと思います。



| 海南省内の王子跡



【有間皇子に関する文化】

有閑皇子(秀崩)天皇12年(640)に孝德天皇と小足姫(左大臣阿倍麻呂の娘)との間に生まれました。孝德天皇が崩御した後、兵衆が逃亡したのに追趕ために心に病を致し、安寧を保つため平野の湯(磐梯白温泉)に赴きました。飛鳥に帰った際、諱言の跡見とされたため改められ、辛夷の湯に改められました。秀夷天皇4年1月16日(658年2月19日)に牛嶋の邊で兄皇子の御窮を避け、翌日には藤白坂で絶命により逃げられます。藤白坂の周辺には有閑皇子に関する文化施設があります。



— 10 —